

道標 ～みちしるべ～

2023. 4. 14 (金)

名古屋市立志賀中学校

最終学年になりました！



新しい学年がスタートしました。中学3年生は義務教育最終学年であり、1年後はそれぞれの人生を歩いていくこととなります。進路は先が見えないもので、何を考えればいいのか、何をやればいいのか、自分は大丈夫なのか、不安になるものです。ただ、中学3年生の進路指導は、「そういう人たちがほとんどである」という大前提から始まります。まずは次のようなことを意識してみましょう。

○ 自分自身をよく知ること

自分の長所や性格、特技を把握しましょう。

○ 情報をたくさん集めること

それぞれの学校の特色を理解しましょう。(パンフレット、体験入学、先輩の話など) 職業についても調べ、必要な条件や資格をチェックしましょう。

○ 勉強すること

毎日、家で1人で学習する時間を作りましょう。実力をつけましょう。

“やること”と“始める時間”を決めて、必ず机の前に座りましょう。

意外に大きいのは“すき間の時間”といわれるもの。朝学習の時間、授業前の2分間、何かの待ち時間など、積み重ねればすごい時間になります。大切にしましょう。

○ まわりのアドバイスによく耳を傾けること

家族や先生方など人生の先輩の言葉には、自分の進路選択のためになることがきっとあります。たくさん話をしましょう。

○ 真剣に悩むこと

どんなことにもプラス面とマイナス面があります。“いろいろな視点”から考えてみましょう。

○ 病気になること、けがをしないこと

いざというときに、実力を発揮できるよう、日ごろから心も、体も、健康を心がけましょう。

○ 自信と自覚を持って選択すること

夢と力(学力、体力、精神力)をもち、自分の選択に自信をもてるようにしましょう。

進路だよりのタイトルである「道標(みちしるべ)」とは、道の分岐点にあって、それぞれの道が進む方向や目的地、距離などを記したものです。未来に向かって自分で歩き始めるみなさんが道に迷うとき、何らかの方向を探り出すひとつの資料になってくれたらいいなと思います。



進路についてのお話

「進路」とは、進学先を決めるだけでなく、「将来自分がどんな生き方をしたいか」を考えることです。具体的に言えば、「社会の一員として、どのように生きるか」を考えていくことです。

みなさんは今から、中学校卒業後の「進路」を決定するために莫大な時間とエネルギーと費用をかけて本格的に取り組めます。その努力に見合った“成果”が得られるような取り組みをしないと、とてももったいない1年を過ごすこととなります。

“成果”というのは、“合格”“不合格”“採用”“不採用”といった、単純に受験や選考の“結果”のことではありません。大切なのは、その後です。結果を受けた“その後の生活”が充実したものになることが、この1年のみなさんの努力の“成果”でなくてはなりません。

「いい学校・いい職場」とは、自分の力を出せる活動の場がある学校・職場のことです。入試の難しさや、世間の評判とはまったく関係ありません。第1希望が絶対でもありません。希望通りの学校に入学したのに、いつまでたってもものんびりと過ごしてしまう人もいれば、「3年後こそは！」と悔しい思いを胸に、飛躍的に伸びる人もいます。結果をどのように受け入れるか、そこが一番大切です。決定した進路はだれのものでもない、自分で決めた大切なものであることを自覚し、それをチャンスとして充実した毎日を送った人が、「いい学校・いい職場に出会えた」と言えるのです。どこに行くかではなく、そこで何をするかです。



進路教材の提出について

学習の総まとめの手段として、昨年度から進路教材（「マイペース」または「自主学习ノート」）に取り組んでいます。毎月、予定表を配布するので、各自で確認して忘れないようにするとともに、計画的に学習に取り組みましょう。教科の順番は以下の通りです。

国語 → 社会 → 数学 → 理科 → 英語

また、配布される予定表は、最低限の進度になっています。当然ですが、各自のペースでどんどん進めても構いません。むしろ、2回目、3回目…と繰り返すうちに実力が養われるので、積極的に先へ先へと進めていきましょう。

